

## 女性医師支援センター便り

## 宮城県医師会 令和5年度医学生・研修医支援セミナーの報告



宮城県医師会常任理事

宮城県医師会女性医師支援センター副センター長

福 與 なおみ

令和5年度の医学生・研修医支援セミナーは、新型コロナウイルス感染の5類移行に伴い、久々に宮城県医師会館での現地開催とオンラインのハイブリッドで開催されました。第1回は2023年7月26日（水）、第2回は2023年11月1日（水）、第3回は2024年1月17日（水）で、参加人数はそれぞれ27名、44名、61名でした。このうち第2・3回のセミナー後には飲食を交えた懇談会を開催し、それぞれ38名、49名の医学生と医師が参加しました。

3回とも宮城県医師会佐藤和宏会長の挨拶に始まりました。引き続き橋本省宮城県医師会女性医師支援センター長から、本セミナーの主旨（女性医師支援センターという名ではあるものの、女性医師のみならず、性別にとられない医師全体の支援が目的）が紹介されました。

第1回のセミナーは、シンポジウムと特別講演で構成されました。シンポジウムでは、宮城県医師会女性医師支援センター委員であり、東北労災病院呼吸器外科部長の保坂智子先生に座長をお務めいただき、お2人の女性医師がご講演くださいました。東北労災病院呼吸器内科内科専攻医である大友梓先生には「医師5年目の今、思うこと」という演題で、医学部進学から診療科選択までの経緯を詳しくお話しいただきました。東北大学加齢医学研究所臨床加齢医学研究分野助教で東北大学病院加齢・老年病科医局長である舘脇康子先生からは「東北大学病院加齢・老年病科でのキャリア形成支援」という演題で、子育てと仕事の両立における職場の理解の大切さと老年病科の魅力についてお話しいただきました。引き続きの特別講演では、座長の宮城県女性医師支援センター委員で森洋子クリニックの山本蒔子先生のもと、宮城県医師会副会長で宮城県医師会女性医師支援セン

NO PHOTO

大 友 梓 先生

NO PHOTO

舘 脇 康 子 先生



橋 本 省 先生

ター長である橋本省先生に「若手医師の働き方改革」というテーマでご講演いただきました。働き方改革が始まるにあたっての研修医としての留意点などを分かりやすくお話しくださりました。

第2・3回のセミナーでは、参加者である医学生や研修医と年齢的に近い若手医師各3名に、シンポジウムでご講演いただき、その後の懇談会で情報交換を行いました。

第2回のセミナーでは、宮城県医師会女性医師支援センター委員でみちよレディースクリニック院長の倉片三千代先生に座長をお務めいただき、東北医科薬科大学病院小児科助手の伊師篤子先生から「小児科医として出産・育児を経験して考えたこと」、東北大学放射線診断科大学院生の山森瑛子先生から「行き当たりばったりの道をゆく」、東北大学病院産婦人科大学院生の泉聖也先生から「東北大学病院産婦人科後期研修プログラムを終えて～転科を経験して～」と、それぞれの演題でお話しいただきました。伊師先生も山森先生もご主人の転勤や女性特有のライフイベントを契機に縁のない仙台にやってきた先生でした。大変なこともあるがそれでも何とかなる、というお話で、卒後に知らない土地での研修が決まっている医学生にとって、勇気づけられる内容だったと思います。泉先生は現在の充実した産婦人科医としての生活があるのは、“いろいろなつらい過去も大事な経験だった”と思えるからだとお話ししており、若手医師にとって励みになる内容でした。

第3回のセミナーでは、宮城県医師会女性医師支援センター委員で、東北公済病院乳腺外科医長である佐藤章子先生に座長をお務めいただき、仙台医療センター血液内科内科専攻医の前田都秋先生から「血液内科医を目指して～初期研修や専攻医研修をどう決めたか～」、東北大学大学院医学系研究科乳腺内分泌外科学分野大学院生の山崎あすみ先生から「30歳の今、思うこと」、宮城県立こども病院消化器科の篠崎まみ先生から「出産・育児と小児科医の仕事との両立」と、それぞれの演題でお話しいただきました。前田先生は、初期研修先や診療科選択にあたって重要な点をうまくまとめてお話しくださり、医学生にはとても参考になったと思います。山崎先生は卒業試験後に出産、

NO PHOTO

伊 師 篤 子 先生

NO PHOTO

山 森 瑛 子 先生

NO PHOTO

泉 聖 也 先生

NO PHOTO

前 田 都 秋 先生

NO PHOTO

山 崎 あ す み 先生

## 宮城県医師会女性医師支援センター

その後医師国家試験に合格、以降はご両親の協力のもとで精力的に各種専門医を取得してきたこととお話いただきました。医学生には刺激的だったと思います。篠崎先生も出産後にご主人の協力のもとで専門的な分野の研鑽を積まれており、医学生や研修医には、いろいろなキャリアの積み方・家族の在り方があるのだと実感できたことと思います。

久々に開催した懇談会は、2回とも盛會に終わりました。特に、今年度は男性の医学生や医師の参加も多かったことが印象的でした。年代や診療科を超えて、男女関係なく働きやすい、働き続けられる、そして自分なりのキャリアを積むにはどうしたらいいかを、先輩医師に熱心に聞いている医学生の姿に、これからの宮城県の明るい医療に期待を感じることができました。

お忙しい中、ご講演を引き受けて下さった先生方、座長の先生方ありがとうございました。そしてなにより、参加して下さる方がいなければ、セミナーは存在しません。お忙しい中、参加して下さった皆さまにお礼を申し上げるとともに、本セミナーが明日からの皆さまの活動のモチベーション向上につながれば大変うれしく思います。

NO PHOTO

篠崎まみ先生



セミナーの様子

NO PHOTO

懇談会の様子